

長野広域連合 次期一般廃棄物最終処分場候補地（構成市町村推薦）の総合評価（概要版）

1. 概要

- 現在の一般廃棄物最終処分場（エコパーク須坂）は令和17年度（2035年度）まで埋立てを行う予定です。
- 一般廃棄物処理施設は、住民の生活に必要不可欠な施設ですが、その整備に当たっては候補地の選定や用地の取得に長い期間を要するため、早い時期から整備を検討する必要があります。
- 長野広域連合では次期一般廃棄物最終処分場の整備に必要な規模やスケジュールなどを整理し、構成市町村の推薦により広域圏内に立地可能な6箇所の候補地を選定しました。
- 令和4年度には学識経験者等で構成された「長野広域連合ごみ処理施設整備計画等専門委員会」において、6箇所の候補地を対象に自然条件や環境条件、経済条件などの観点から評価を行い、今回、2箇所の候補地を選定しました。
- 今後、委員会において選定した2候補地から、長野広域連合において最終候補地を決定する予定です。

2.長野広域連合ごみ処理施設整備計画等専門委員会

氏名	所属等	役職名
◎梅崎 健夫	信州大学学術研究院 工学部 水環境・土木工学科	教授
小野 雄策	元 日本工業大学	教授
富樫 均	いいつな歴史ふれあい館	館長
○藤吉 秀昭	一般財団法人 日本環境衛生センター	副理事長
松本 明人	信州大学学術研究院 工学部 水環境・土木工学科	准教授

（敬称略、五十音順）、◎委員長 ○副委員長

回数	開催日	内容
第1回	令和4年3月29日	・委員及び事務局の紹介 ・候補地選定のこれまでの経過について
第2回	令和4年6月24日	・候補地の現況報告 ・評価項目・評価基準・評価方法（提示）
第3回	令和4年8月24日 ～令和4年8月25日	・候補地の現況報告 ・現地調査
第4回	令和4年11月30日	・施設構想図 ・評価項目・評価基準・評価方法
第5回	令和5年2月24日	・地元説明会の内容報告 ・総合評価
—	令和5年3月	・候補地選定結果報告書

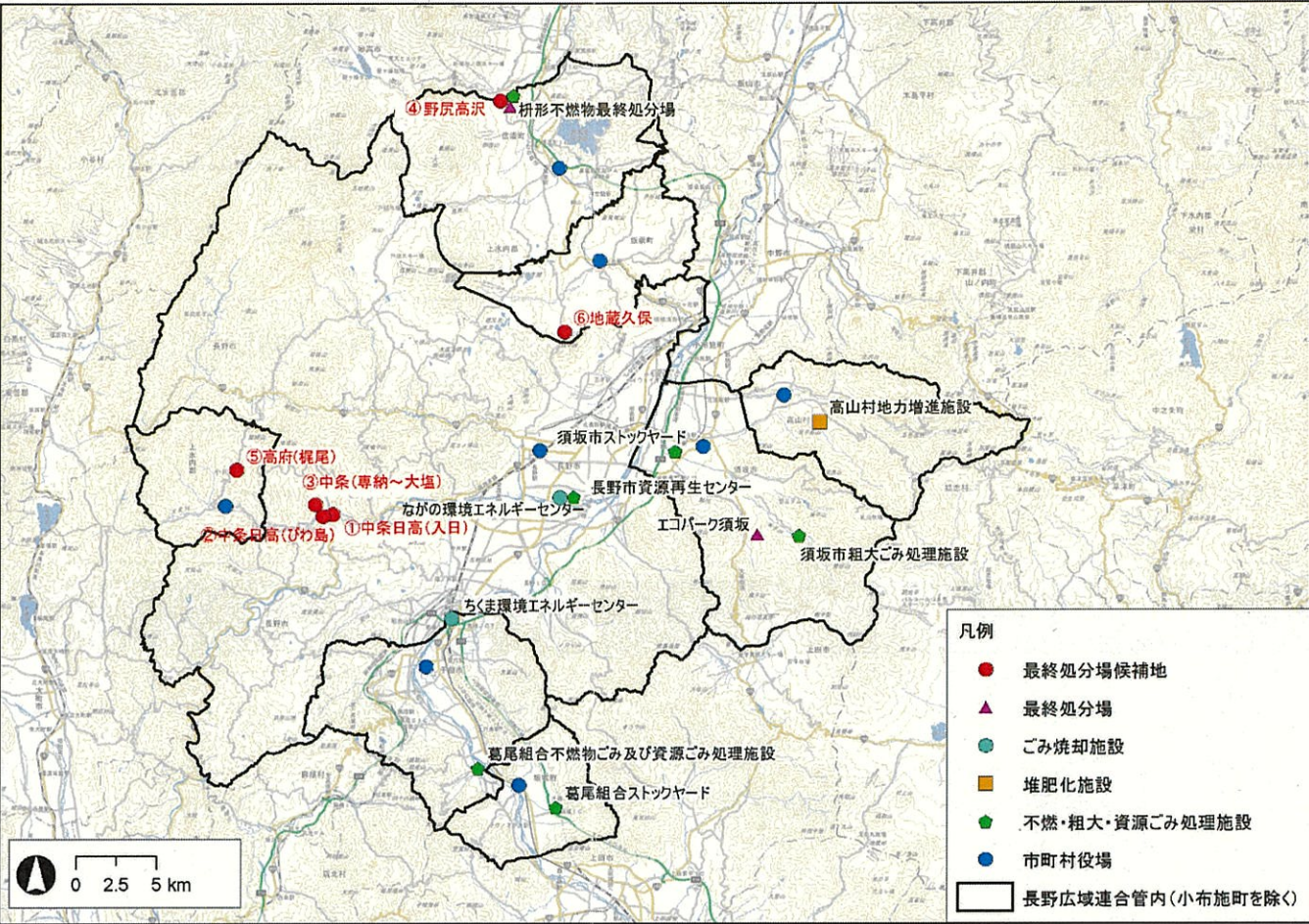
3.次期一般廃棄物最終処分場の計画概要

項目	計画	備考
埋立期間	令和18年度(2036年度) ～令和32年度（2050年度）	「廃棄物最終処分場の性能に関する指針（平成14年11月改定）／環境省」に従い15年間と設定
埋立対象物	焼却残渣等	焼却灰、ばいじん、溶融飛灰、溶融スラグ、溶融不適物
計画埋立容量	159,400m ³	埋立廃棄物：107,300m ³ 災害廃棄物：15,100m ³ 覆 土：37,000m ³

4. 候補地選定に係る経過

年月	会議名称	内容
平成15年 12月	ごみ処理施設建設及び 管理運営計画策定委員会	次期一般廃棄物最終処分場の候補地は、北部ブロック又は西部ブロックから選定することを条件として、須高ブロック内に一般廃棄物最終処分場（エコパーク須坂）を整備する方針を決定
平成24年 11月	広域連合議会	次期一般廃棄物最終処分場建設候補地の選定に着手することを広域連合長が表明
平成26年 7月	第2回ごみ処理広域化 推進協議会	次期一般廃棄物最終処分場建設候補地を北部ブロック又は西部ブロックから選定する方針を決定
平成26年 8月	第1回次期最終処分場 候補地関係市町村会議	北部ブロック又は西部ブロックから候補地を選定するが、1ブロックに限定するのではなく、関係4市町村でそれぞれ候補地の選定作業を実施・検討していくことを確認
平成26年 8月	第3回ごみ処理広域化 推進協議会	関係4市町村で候補地の選定を行う方針を決定
平成26年 10月	副市町村長会	関係4市町村で候補地の選定を行う方針を説明
平成27年 4月	—	関係4市町村に次期一般廃棄物最終処分場建設候補地抽出条件を示し、候補地抽出を依頼
令和3年 5月	—	関係4市町村から候補地として6箇所が提示

5.構成市町村より推薦された候補地（6箇所）



番号	市町村	所在地	敷地面積	現況地目
①	長野市	中条日高（入日）	約 6.5 ha	原野
②		中条日高（びわ島）	約 2.6 ha	原野
③		中条（専納～大塩）	約 7.2 ha	山林
④	信濃町	野尻高沢地区	約 5.0 ha	山林
⑤	小川村	高府（梶尾地区）	約 7.3 ha	山林
⑥	飯綱町	地藏久保	約 14.0 ha	原野

6.評価結果（委員会で選定する候補地の決定）

区分	評価の項目	候補地番号					
		①	②	③	④	⑤	⑥
土地条件	土地利用	B	B	A	B	A	B
	土地所有	C	A	A	A	B	B
自然条件	地形の状況	C	B	C	C	B	A
	地質の状況	C	C	C	C	C	C
	流域面積	A	C	C	B	C	A
	希少動植物の確認状況	C	B	B	C	C	C
	自然の改変度	C	B	C	C	C	C
環境条件	水源への影響	A	A	A	A	A	A
	放流先の状況	B	A	B	C	C	B
	生活環境への影響	B	C	C	C	B	B
	沿道への影響	A	A	A	B	C	C
建設条件	防災に係る法規制	B	B	C	B	B	A
	農用地区域の該当状況	C	C	C	C	C	C
運搬条件	運搬効率	A	A	A	C	C	A
	積雪の状況	A	A	A	C	A	B
施設配置計画	土量バランス	C	B	B	B	A	A
	建設工事の規模	B	A	B	A	B	C
	立地特色・防災対策	C	C	C	C	C	A
	処理水放流管等施設の整備	A	A	B	C	C	C
経済条件	跡地の有効利用	C	C	A	A	A	A
	施設整備費・維持管理費	C	C	C	C	A	B
選定する候補地		○					○

※太枠及び赤字は評価のポイント

評価結果 (1/2)

評価項目				評価方法・評価基準		候補地①	候補地②	候補地③	候補地④	候補地⑤	候補地⑥
						長野市中条日高：入日	長野市中条日高：びわ島	長野市中条：専納～大塩	信濃町野尻高沢	小川村高府：梶尾	飯綱町地蔵久保
土地条件	1	土地利用	土地利用状況により評価	A：土地利用されていない B：候補地の一部が土地利用されている C：候補地の大半が土地利用されている	評価内容	B	B	A	B	A	B
	2	土地所有	土地所有状況により評価	A：筆数が122筆未満である B：筆数が122筆以上175筆未満である C：筆数が175筆以上である	評価内容	C	A	A	A	B	B
自然条件	3	地形の状況	地形変状の有無や確からしさにより評価	A：地形変状がない、または顕著な地形変状が確認されない B：地形変状がある C：地形変状が複数ある	評価内容	C	B	C	C	B	A
	4	地質の状況	岩や砂礫地盤などの安定した地盤の分布及び軟弱層や土石流堆積物などの有無と湧水や地下水の影響により評価	A：岩や軟岩や砂礫地盤を主体とし、軟弱な地質でなく、湧水や地下水の影響もない C：未固結の砂や泥等、軟弱な地質からなる。または土石流堆積物や崩積土などの不安定な地質要素、湧水や地下水の影響が想定される	評価内容	C	C	C	C	C	C
	5	流域面積	流域面積により評価	A：流域面積が敷地面積の2倍未満 B：流域面積が敷地面積の2倍以上4倍未満 C：流域面積が敷地面積の4倍以上	評価内容	A	C	C	B	C	A
	6	希少動植物の確認状況	希少動植物（法指定種、絶滅危惧Ⅰ類以上）の生息の有無で評価	A：希少動植物の生息・生育が候補地やその周辺で確認されていない B：文献調査により希少動植物が候補地内に生息している可能性がある C：現地調査により希少動植物が候補地内に生息している可能性が高い	評価内容	C	B	B	C	C	C
	7	自然の改変度	現生植生図（環境省）から植生自然度を評価	A：植生自然度の高い植生（自然度7-10）が無く、植生自然度が中（自然度4-6）～低（自然度1-3）の植生で占められる B：植生自然度の高い植生（自然度7-10）の占める割合が30%未満である C：植生自然度の高い植生（自然度7-10）の占める割合が30%以上である	評価内容	C	B	C	C	C	C
	8	水源への影響	水道用水や農業用水としての取水の有無を評価	A：候補地内またはその1km以内の下流域で水道用水や農業用水として取水していない C：候補地内またはその1km以内の下流域で水道用水や農業用水として取水している	評価内容	A	A	A	A	A	A
	9	放流先の状況	放流先が公共下水道か公共用水域かを評価	A：公共下水道の供用区域内である（下水道放流） B：公共下水道の供用区域外であるが、下水道放流の可能性が高い C：公共下水道の供用区域外であり、下水道放流の可能性が低い	評価内容	B	A	B	C	C	B
環境条件						供用区域まで1km圏内		供用区域まで1km程度		供用先との高低差あり	供用区域まで2km程度

評価結果 (2/2)

評価項目				評価方法・評価基準	候補地①	候補地②	候補地③	候補地④	候補地⑤	候補地⑥
					長野市中条日高：入日	長野市中条日高：びわ島	長野市中条：専納～大塩	信濃町野尻高沢	小川村高府：梶尾	飯綱町地蔵久保
環境条件	10	生活環境への影響 周辺の民家等への影響を評価	A：候補地から最も近い民家等までの距離が500m超である B：候補地から500m以内に民家等が247棟（平均）未満存在する及び生活道路への影響が低い C：候補地から500m以内に民家等が247棟（平均）以上存在する及び生活道路への影響が高い	B	C	C	C	B	B	
			評価内容	周辺の建物数：164棟	周辺の建物数：312棟 近隣に福祉施設や老人ホームあり	周辺の建物数：301棟 近隣に福祉施設や老人ホームあり	周辺の建物数：353棟	周辺の建物数：123棟 近隣に神社あり	周辺の建物数：229棟	
	11	沿道への影響 運搬車両の増加による生活環境への影響を評価	A：大型車の増加率が他候補地に比べて小さい（2.4%未満） B：大型車の増加率が他候補地に比べて中程度（2.4%以上4.1%未満） C：大型車の増加率が他候補地に比べて大きい（4.1%以上）	A	A	A	B	C	C	
			評価内容	0.6%	0.6%	0.6%	3.1%	5.9%	4.4%	
建設条件	12	防災に係る法規制の該当状況 防災に係る法規制の該当状況を評価	A：防災に係る法規制に該当していない B：防災に係る法規制（砂防三法を除く）に該当している C：防災に係る法規制（砂防三法）に該当している	B	B	C	B	B	A	
			評価内容	地すべり危険箇所に該当	地すべり危険箇所、土砂災害警戒区域に該当	砂防指定地、地すべり防止区域等に該当 下流に砂防堰堤あり	土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険箇所に該当 過去に災害履歴があり、上流にダムが建設されている	土砂災害警戒区域に該当		
	13	農用地区域の該当状況 農用地区域の該当状況を評価	A：農用地区域を含まない C：農用地区域を含む	C	C	C	C	C	C	
			評価内容							
運搬条件	14	運搬効率 廃棄物排出量と焼却処理施設から候補地までの距離の積で評価	A：運搬効率が他候補地に比べて優れている（3,800千t・km未満） B：運搬効率が他候補地に比べて中程度（3,800千t・km以上4,900千t・km未満） C：運搬効率が他候補地に比べて優れていない（4,900千t・km以上）	A	A	A	C	C	A	
			評価内容	2,900千t・km	3,100千t・km	3,100千t・km	6,100千t・km	4,900千t・km	2,600千t・km	
	15	積雪の状況 除雪量と除雪日数の積で評価	A：除雪量×除雪日数が他候補地に比べて小さい（61,000㎡・日未満） B：除雪量×除雪日数が他候補地に比べて中程度（61,000㎡・日以上122,000㎡・日未満） C：除雪量×除雪日数が他候補地に比べて大きい（122,000㎡・日以上）	A	A	A	C	A	B	
			評価内容	22,176㎡・日	5,100㎡・日	23,879㎡・日	188,078㎡・日	53,280㎡・日	112,320㎡・日	
施設配置条件	16	土量バランス 土量バランスを評価	A：土量バランスが他候補地に比べて優れている（残土又は購入土なし） B：土量バランスが他候補地に比べて中程度（購入土又は不足土が20万㎡未満） C：土量バランスが他候補地に比べて優れていない（購入土又は不足土が20万㎡以上）	C	B	B	B	A	A	
			評価内容	残土量：388,300㎡	購入土：149,000㎡	購入土：199,900㎡	購入土：78,600㎡	残土及び購入土なし	残土及び購入土なし	
	17	建設工事の規模 土工量を評価	A：土工量が他候補地に比べて優れている（土工量が34万㎡未満） B：土工量が他候補地に比べて中程度（土工量が34万㎡以上52万㎡未満） C：土工量が他候補地に比べて優れていない（土工量が52万㎡以上）	B	A	B	A	B	C	
			評価内容	土工量：423,150㎡	土工量：217,000㎡	土工量：469,400㎡	土工量：158,600㎡	土工量：396,000㎡	土工量：701,000㎡	
	18	立地特色・防災対策 立地・防災に係る留意事項に該当する数で評価	A：留意事項が1個以下 B：留意事項が2～3個 C：留意事項が4個以上	C	C	C	C	C	A	
			評価内容	4個	4個	4個	5個	4個	1個	
	19	処理水放流管等施設の整備 処理水放流管等施設の整備有無や整備内容を評価	A：処理水放流管等施設の整備延長が他候補地に比べて短い（800m未満） B：処理水放流管等施設の整備延長が他候補地に比べて中程度（800m以上1,600m未満） C：処理水放流管等施設の整備延長が他候補地に比べて長い（1,600m以上）又は河川放流	A	A	B	C	C	C	
			評価内容	100m（下水放流）	150m（下水放流）	1,000m（下水放流）	50m（河川放流）	600m（河川放流）	2,400m（下水放流）	
	20	跡地の有効利用 跡地利用の有効性について評価	A：埋立終了後の平場面積が他候補地に比べて大きい（1.5ha以上） B：埋立終了後の平場面積が他候補地に比べて中程度（1.1ha以上1.5ha未満） C：埋立終了後の平場面積が他候補地に比べて小さい（1.1ha未満）	C	C	A	A	A	A	
			評価内容	0.63ha	0.91ha	1.92ha	1.6ha	1.89ha	1.86ha	
経済条件	21	施設整備費・維持管理費 概算施設整備費（搬入道路整備費含む）及び概算維持管理費（人件費含む）を算出して評価	A：経済性が他候補地に比べて最も優れている B：経済性が他候補地に比べて平均未満（98.3億円未満） C：経済性が他候補地に比べて平均以上（98.3億円以上）	C	C	C	C	A	B	
総合評価				評価内容	110.3億円	99.9億円	99.9億円	123.8億円	74.3億円	81.6億円
				A	6	8	7	4	6	8
				B	5	6	5	5	5	6
				C	10	7	9	12	10	7
選定する候補地					O					O